

平成30年7月17日（火曜日）

3年生

鷺宮図書館見学に出かけました

「何かについて調べたい」と思ったときに、学校だけでなく、地域の図書館も利用できます。そこで、3年生は鷺宮図書館へ出かけて次のことを調べてきました。

- ① 探したい本を見つけやすくするための図書館の工夫
- ② 美鳩小学校の図書館と比べて、図書館のつくりの共通点や相違点

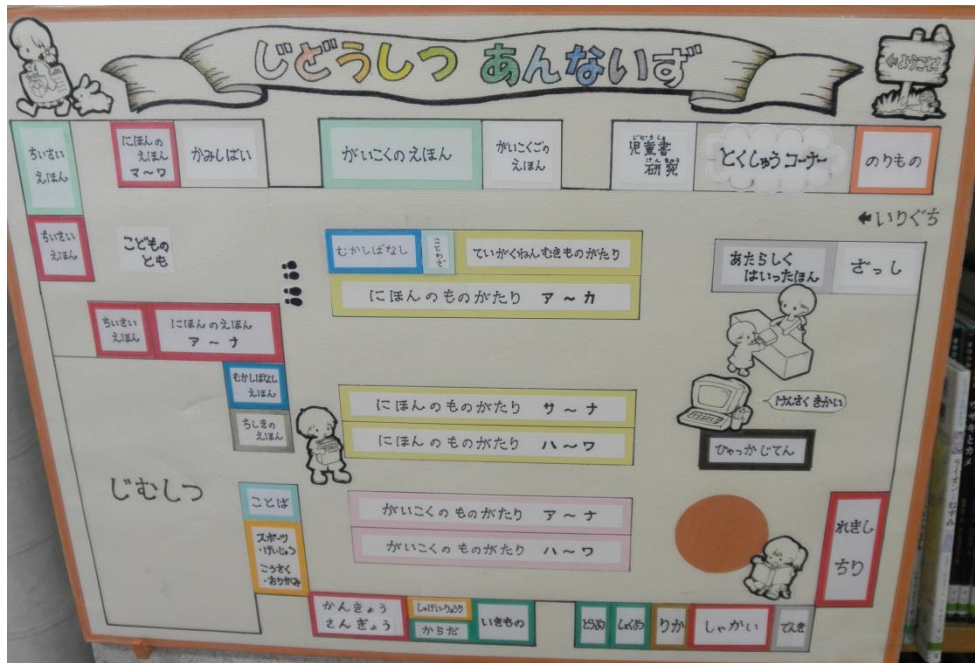
どんな見学になったのでしょうか…

学習のねらいについて再確認します。

何のために見学するのか目的意識がさらに高まりました。

道路の安全な歩き方も確認しました。見学の準備万端です。





図書館では、職員さんから図書館の本の置き方の工夫についてお話を聞きました。

似た内容の本が同じ場所におかれていること、場所ごとに番号がついていること、本の背表紙に貼られたラベルに番号などが示されていること…

すると、聞いていた児童から「学校（の図書室）と同じだ！」

大事な共通点を見つけることができました。



実際にどのように本が置かれているのか、動いて調べました。

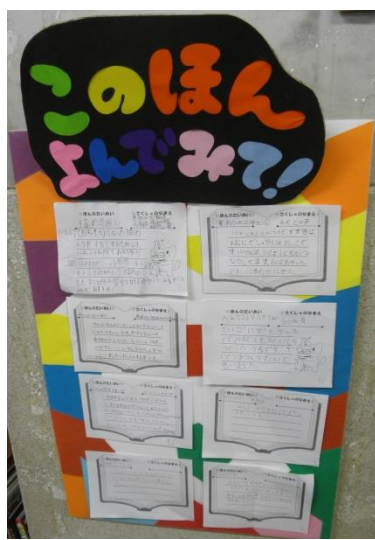
物語を手にする児童、図鑑を手にとって眺める児童
様々な種類の本が置かれていました。

「図書室よりもたくさん本があるよ！」
「本当だ・・・今日夕方来て読もうかな」

学校の図書館との違いに気づくことができた児童もいました。

なんと、鷺宮図書館は全部でおよそ6万冊の蔵書があるそうです。さらに、中野区内のほかの図書館からも本の取り寄せもできるので、利用できる本の冊数は美鳩小の図書館よりも圧倒的に多いのです。





←おすすめの本を紹介するコーナーがあったり
新しく入ってきた本を紹介するコーナーがあったり→

本に親しめるようにする工夫をいくつも見付けました。



読みたい本をゆっくりと読むことができる場所も用意されていました。
わずか15分間足らずの短い時間でしたが、本の世界を楽しむことができたようです。



「美鳩小の図書室にはないジフリの本もあったので、
とっても楽しかったです。また来たいと思いました」

図書館の工夫や、美鳩小図書室との共通点や相違点などを見付けるというめあては十分に達成できたようです。
夏休みに向けて、たくさんの本と親しみ、読みながら思い描く楽しさに浸ってもらいたい… と願ってやみません。